

立教大学教会音楽研究所 2022 年夏

特別講座

「メンデルスゾーンの宗教音楽」

メンデルスゾーンの個性は、ユダヤ人家系に生まれたキリスト教徒というアイデンティティと切り離すことはできません。

バッハの《マタイ受難曲》、《ロ短調ミサ》の復活上演はどのような意味を持っていたのでしょうか。

二大オラトリオ《パウロ》と《エリヤ》を通して、彼は何を表現しようとしたのか、コラールをモチーフにしたオルガン曲を聴きつつ、天才作曲家の知られざる本質に迫ります。

講師：星野宏美（異文化コミュニケーション学部教授）

オルガン：崎山裕子（立教学院オルガニスト）

対面開講日：7月20日（水）18:30-20:00

会場：立教学院諸聖徒礼拝堂（池袋キャンパス）

聴講定員：80名

申込締切日：7月13日（水）

演奏曲：Johann Sebastian Bach

- ・ Wer nur den lieben Gott lässt walten BWV 642
- ・ Wachet auf, ruft die Stimme BWV 645
- ・ Schmücke dich, o liebe Seele BWV 654
- ・ Allein Gott in der Höh sei Ehr BWV 663

Felix Mendelssohn Bartholdy

- ・ Choral und Variation
"Herzlich tut mich verlangen"
- ・ Sonata VI Op. 65, 6

参加費：一般 3,000円

友の会会員 2,000円

メンデルスゾーン基金および協会会員 2,000円

学生会員 1,000円

立教大学生・大学院生 無料

お申し込み方法：

件名に「メンデルスゾーン」と明記し、本文に「対面聴講申し込み」と書いて研究所のメールアドレス：music@rikkyo.ac.jpにメールを送信してください。折り返し、「お申込みフォーム」をお送りするので、もれなく記入し最後に「送信」ボタンを押してください。後日、参加費総額と振込先の口座番号を、メールでお知らせいたします。会場となるチャペルには人数制限がありますので、無料参加の立教生も必ずメールでお申込みください。定員 80 名に達しましたら、締め切らせていただきます。この講座は、9月2日にオンライン配信でもご視聴いただけます。

※この講座の元となる講師の著作『メンデルスゾーンの宗教音楽』（教文館、2022年3月発行）を一割引でご購入いただけます。ご希望の方は「お申込みフォーム」にご記入ください。

主催・お問合せ： 立教大学教会音楽研究所

E-mail：music@rikkyo.ac.jp

Tel/Fax：03-3985-2786

※研究所へのお問合せやご連絡は、メール又は Fax でお願いたします。

星野 宏美 Hiromi Hoshino

立教大学異文化コミュニケーション学部教授。専門は西洋音楽史。東京藝術大学音楽学部楽理科卒業、同大学院修了。博士（音楽学）。著書に『メンデルスゾーンのスコットランド交響曲』（音楽之友社、2003年）、『玉川大学教育博物館所蔵 メンデルスゾーン自筆ピアノ譜 ゲーテの詩に基づく《最初のワルプルギスの夜》』（雄松堂、2005年）、楽譜校訂に“Mendelssohn Bartholdy: Sonaten für Violine und Klavier”(桐山建志と共同校訂、Bärenreiter、2009年)、論文に「作曲家メンデルスゾーンの素描と水彩 スイス旅行を例にして」（『芸術愛好家たちの夢 ドイツ近代芸術におけるディレッタントイズム』所収、三元社、2019年）ほか。今回の講座は、近著『メンデルスゾーンの宗教音楽 パッサリ復活からオラトリオ《パウロ》と《エリヤ》へ』（教文館、2022年）の紹介を兼ねる。当研究所所員。

崎山 裕子 Yuko Sakiyama

国立音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。聖グレゴリオの家宗教音楽研究所本科修了。1997年、スイス・バーゼル音楽院オルガン科コンサートクラスを最優等で修了、ギ・ボヴェ氏に師事。アメリカ・ボストンのニューイングランド音楽院に短期留学し、故・林佑子氏に師事。2003年、立教学院オルガニストに就任し、立教学院の式典や礼拝の奏楽、立教大学オーガニスト・ギルド指導者、立教学院諸聖徒礼拝堂聖歌隊の伴奏者を務めている。立教大学大学院キリスト教学研究科兼任講師、当研究所所員。